旭川のやきもの

Asahikawa's Pottery


1

旭川におけるやきものの歴史は、明治期、台場ヶ原（現・旭川市神居町台場付近）に煉瓦工場が設立されたことに始まります。昭和30～40年代には、窯業指導所で研鑽を積んだ人々が旭岡を中心に窯を築いたことで、同地区は「嵐山陶芸の里」と呼ばれ、道内有数の陶芸産地へと発展しました。

旭川の陶芸文化は、特定の伝統や技法を一つの系譜として受け継ぐのではなく、多様な背景を持つ作家たちによって形作られてきました。本州の伝統的なやきもの産地とは異なり、作陶のきっかけや技法、素材もさまざまで、窯ごとの個性豊かな作品が生み出されています。

本展では、北海道立近代美術館（江上壽幸コレクション）や江別市セラミックアートセンターの所蔵作品などを通して旭川の陶芸の歩みを振り返るとともに、現在、旭川を拠点に活動する陶芸家たち12名の作品を紹介し、「やきもののまち」としての旭川の魅力を再発見します。


2


3


4


5


6


7


8

技が光る 木の手しごと　Handcrafted Woodworks: The Artistry Shines

同時開催として、「技が光る 木の手しごと」と題し、当館の「木の造形」コレクションから、近年収蔵された須田賢司や村山明をはじめ、旭川を拠点に活躍する丹野則雄や大門嚴などが手がけた木工芸品を展示し、その高い技術と遊び心を味わいます。また、黒田辰秋《神代欅彫文飾棚》の修復後、当館では初の展示を行います。

関連事業

旭川のやきもの

❶ 展示解説講座「旭川のやきもの」

講　師｜当館学芸員
日　時｜12月19日（土）、1月17日（日）、2月23日（火・祝）　各日14:00～（約60分）
会　場｜当館講堂
（聴講無料、定員50名、当日先着順）

❷ 呈茶席

日　時｜2月14日（日）　10:00～（茶菓がなくなりしだい終了）
協　力｜茶道裏千家淡交会旭川支部
会　場｜当館ロビー
参加費｜お茶券500円
（事前購入は淡交会旭川支部［髙木　電話：090-5335-0652］にお問い合わせください。当日受付での購入も可能）
＊詳細は別途、事業チラシやホームページでお知らせいたします。

技が光る 木の手しごと

❸ ワークショップ「彫花文のレリーフ作り」【事前申込制】

講　師｜黒田悟一氏（黒田辰秋孫）、久保田芳弘氏（Greenwoodwork Lab代表/木工家）
日　時｜1月23日（土）
①10:00～12:30
②14:00～16:30（各回約150分）
定　員｜各回12名程度（中学生以上、参加費あり）
会　場｜当館講堂、第一展示室
申　込｜令和8年12月15日（火）9:30から、電話（0166-25-2577）にて受付
＊参加費は別途、事業チラシやホームページでお知らせします。

❹ 冬のウッディ★工作アトリエ2027「木×やきもの壁飾りづくり」【事前申込制】

講　師｜旭川市工芸センター職員
日　時｜1月7日（木）14:00～15:30（約90分）
会　場｜当館講堂
定　員｜10組20名（小学生、要保護者同伴）
参加費｜1組800円（観覧料のみ、一般団体600円+小学生団体200円）
申　込｜令和8年12月15日（火）9:30から、電話（0166-25-2577）にて受付

第2展示室のご案内

たゆたう絵画
福井爽人×上野憲男

日本画家・福井爽人（1937～）と油彩画家・上野憲男（1932～2021）の作品を「たゆたう」をキーワードに紐解いていきます。
一般：260（210）円、高大生：150（110）円
＊（）内は10名以上の団体料金。
＊中学生以下、65歳以上の方、土曜日の高校生は無料。

交通案内

●徒　歩　JR旭川駅から約20分。
●バ　ス　JR旭川駅北側の1条通の14番バス停〔1条8丁目〕から3・24・33番のバスに乗車。最寄りのバス停は〔4条4丁目〕（3・33番）、徒歩7分。または〔8条西1丁目〕（24番）、徒歩5分。また、バス停〔常磐公園前〕を経由するバス（バス停から徒歩10分）もご利用いただけます。
●タクシー　JR旭川駅前から約10分。1,000円程度。
●駐車場　常磐公園駐車場（無料／9時～17時）をご利用いただけますが、台数に限りがあります。お乗り合わせや公共交通機関ご利用のご協力をお願いします。



作品図版

1　高橋武志（渓雪窯）《渓雪釉花瓶》1990年、江別市セラミックアートセンター蔵
2　工藤和彦《ヒグマ》2023年、作家蔵
3　片山一・片山兵衛（風神窯）《黒泥アイヌ紋大皿》2022年、株式会社風神窯蔵
4　吉田時彦（北窓窯）《アイヌ紋バター入れ》制作年不詳、北海道立近代美術館蔵（江上壽幸コレクション）
5　千尋悠子（千尋窯）《薔薇絵大鉢》2010年頃、作家蔵
6　生駒道子（北愛窯）《翔》1997年、個人蔵
7　柏川法潤（工房じゅげむ）《風の詩》2013年、作家蔵
8　板東豊光（大雪窯）《22 天空の楽土》2022年、作家蔵

出品作家（50音順）

生駒道子　岡田浩明　小木美則
押川　清　神楽陶園　柏川法潤
片山兵衛　片山　一　工藤和彦
小森　忍　杉森さと子　高橋武志
滝野沢泰子　千尋悠子　速水登稔
板東光太郎　板東陶光　板東豊光
松原陶光　山岡三秋　吉田時彦

※全出品作家の作品画像については、当館HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。

北海道立旭川美術館
Hokkaido Asahikawa Museum of Art
〒070-0044
旭川市常磐公園内
TEL 0166-25-2577
FAX0166-25-2539
𝕏 @Asahikawa_Art
@asahikawa_art
美術館HP

＊展覧会や関連事業の日程、内容は、やむを得ず変更となることがございます。最新の情報は当館ホームページ等でご確認ください。